



2020年1月22日

各位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループCEO 阿部 修平
(コード8739 東証第一部)

**「未来創生 2号ファンド」
窒化ガリウム(GaN)材料及びデバイス製造のファブレスメーカーQROMIS への投資実行**

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2018年7月に設立した「未来創生 2号ファンド」が、窒化ガリウム(GaN)の大口径化、高電圧化を実現する革新的技術を有する QROMIS, Inc.(本社：米国カリフォルニア州、CEO: Cem Basceri、以下、QROMIS と表記)への投資を実行しましたので、お知らせします。QROMIS は今回の調達資金を活用し、独自の技術とロードマップを強化するだけでなく、製品ポートフォリオ、アプリケーションの開発とグローバルな事業展開を目指します。

■投資先企業の概要

QROMIS は、世界的なエネルギー消費量を劇的に削減する GaN 半導体材料とデバイスソリューションに対し革新的なイノベーションをもたらす 2015 年創業のファブレスメーカーで、そのパートナーであるマイクロテクノロジー、ヴァンガード国際セミコンダクター、信越化学工業とともに、近年急激な成長を見せ、今後数十億ドル規模になるとみられるパワーエレクトロニクス市場の主要プレーヤーになることを目指しています。独自の特許技術により、QROMIS は直径 200 mm で CMOS ファブ互換性のあるウェハー基板(将来的には 300 mm への拡張も可能)を世界に先駆けて実現し、パワー、高周波、LED、センサーといった様々なアプリケーションで求められる高電圧化にも対応するエピ、デバイスソリューションを提供します。QROMIS は今後も圧倒的な高性能と低コストを両立した独自のソリューションをグローバルに展開してまいります。

■「未来創生（1号）ファンド」及び「未来創生 2号ファンド」の概要

未来創生（1号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた3社による総額約 135 億円の出資により、2015年11月より運用を開始しました。最終的には、上記3社を加えた計 20 社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技術を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約 50 社に投資しました。2018 年下半期には、既存投資領域 3 分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生 2号ファンドの運用を開始しました。2019 年 12 月末時点の運用資産残高は、1号と2号あわせて、1,093 億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：<https://mirai.sparx.co.jp/investment/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com